

大会時・コロナ禍での取組

- ・テレワーク等については以前より検討・試行をしていたが、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、喫緊に導入
- ・2020年3月頃：コロナ禍テレワーク導入

人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍

テレワーク 実施率約5～7割

オフピーク通勤（時差Biz） . . . 出社時間は前後に幅を持たせ、
出社時間帯の分散（通常は9：00～17：00）

会議等のオンライン化 社内外ともにオンライン化

物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍

特に無し

（物流事業は扱っていないため）

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- ・コロナ禍が継続していることもあり、現在もテレワーク、オフピーク通勤、会議のオンライン化を継続中
- ・働き方改革の流れもあり、今後のテレワーク等の取組方法について検討が必要
- ・オフピーク通勤・会議等のオンライン化も上記同様アフターコロナの取組方法の検討が必要

取組ポイント

- 電車やバス等が混雑していない時間帯の通勤を選択可能に
- 通常の会議・営業等をオンライン化するだけでなく、グループごとにオンラインで「朝会」「夕会」を開き、勤務状況等を把握し、社内で共有

物の流れ

特に無し

【東京2020大会を振り返って】

- ・オンライン会議では遠隔地の関係者と瞬時に会議を実施することが可能となり、これまで取れなかったコミュニケーションが取れるようになった
- ・一方で、細やかな議論等は意思疎通が難しい部分もあり、目的に応じた、オンライン・対面会議の選択が今後の課題と考えている。